平成24年5月14日

各 位

上場会社名　太洋物産株式会社
代表者　代表取締役社長 柏原　滋
（コード番号　9941）
問合せ先責任者　執行役員　総務部ジェネラルマネージャー 宮内　敏雄
（TEL　03-5333-8080）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年9月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,200	96	6	4	0.42
今回修正予想(B)	9,564	△213	△287	△297	△26.47
増減額(B-A)	△2,635	△309	△293	△301	
増減率(%)	△21.6	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成23年9月期第2四半期）	15,841	△99	△224	109	13.05

平成24年9月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	273	83	79	8.21
今回修正予想(B)	―	―	―	―	―
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
（ご参考）前期実績（平成23年9月期）	28,399	△329	△597	39	4.13

修正の理由

当社は、第69期、第70期、第71期と3期連続して営業損失及び経常損失の計上を余儀なくされ、事業見直しの一環として、資金の効率化を図るため大豆・菜種等の取り扱いを減らした結果、売上高の減少となりました。第72期の第2四半期累計期間において、当社の主力商品である鶏肉につきまして、輸入商社や食品メーカー等が大震災後の国内鶏肉生産量を過小評価していたことや、国内消費についての過大な需要予測を立てた結果、輸入量の増加と国内在庫の過剰感から相場の下落により輸入鶏肉の販売等に大きな影響を受け、売上高が95億64百万円と前年同四半期累計期間より38.2%減少いたしました。また、平成23年11月14日公表の「平成23年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせした第2四半期累計期間売上高予想に比しても21.6%減少となりましたことにより、平成24年9月期第2四半期累計期間の業績見通しの修正を行います。
この結果、当社は平成24年9月期第2四半期累計期間におきましては、債務超過に陥ることが予想されますことから、今後は、取扱商品全般についての更なる見直しと仕入管理の強化を行い、利益の確保に向けた施策を講じながら財務基盤の安定を図るため、資本増強策の具体的検討を進めてまいります。
平成24年9月期業績予想につきましては、主力である鶏肉をはじめとする畜肉類の需給の改善は見込まれますが、現段階の相場動向が、第3・第4四半期の会社全体の営業成績に大きく影響を及ぼすため、通期業績予想の発表は誤解を招きかねないと判断し控えさせて頂くことといたしました。なお、業績の見通しがつき次第、速やかにお知らせいたします。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。最終の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上